

醫師になるには

業指導叢書
第四編

特 231
164



始



特231
164



醫者になるには

職業指導研究会編

職業指導叢書(第四編)

東京三友社發行



序

大海に船出するには羅針盤が必要である。これと同様に、數ある職業の中から吾々の一生を托する職業を選ぶには又職業選擇の羅針盤が必要である。職業指導書は、これから、人生々活の第一歩を踏み出さうとする人達の爲に、陸軍々人、海軍々人、小學校教員、醫師、看護婦、産婆、美容師等々と、出来る限りの職業を網羅して、此等各職業の性質を説明し、かくくゝの職業に就くには、かくくゝの道順を通らねばならぬ、かくかくの業務を習得するには、かくくゝの手續きを踏まねばならぬと云ふことを叙述したものである。

人には各天分があつて何人も自己の天分に適應した職業を選ばなければ

ばならぬ。自己の天分に適應した職業を選ぶと云ふことは、單に自己の幸福の爲だけでなく、國家社會に對しても當然なさねばならぬことである。なんとすれば、國家社會は各人が各其の天分に應じて出来るだけ奉仕するところに其の發展が期せられるからである。

本叢書はそれ／＼其の道の専門家に依頼して、執筆してもらつたものであるが、紙數に制限あり、一方公刊をいそいだ爲に、或は多少の缺陷があるかもしれない。然しこれは他日の補正を期することにして、兎にも角にも本書の上梓が職業選擇の上に何等かの参考になるならば幸である。

編者識す

昭和八年六月

目次

第一章 職業の選び方	一
第一節 職業選擇の條件	一
第二節 職業選擇上注意すべき事項	二
第二章 醫者とはどんなものか	五
第一節 醫者の役目	五
第二節 醫者の資格	九
第三節 醫者と人格	二
第四節 醫者の收入	三
第五節 醫者と風采	三
第六節 醫者の樂しみ	三
第三章 醫者になるにはどんな人が良いか	一四

第一節 身體と精神……………一四

第二節 家族としての境遇……………一七

第三節 資力との關係(學資)……………一七

第四章 醫者になる道……………三

第一節 醫者になれる學校……………三

第二節 醫者になれる學校の入學資格……………四

第三節 先づ入學資格を作れ……………五

第四節 獨學者の道……………六

第五章 軍醫になるには……………七

第六章 獸醫になるには……………八

第七章 醫者の現状……………八

第八章 奮闘の跡……………九

醫者になるには

第一章 職業の選び方

第一節 職業選擇の條件

自分は將來どう云ふ職業しよくげふを選ぼうかと言ふことについては、誰もが一度は考へ、且つ迷ふ事である。一生の幸不幸かうふかうは、此の職業選擇が適當てきたうであつたか、否かに因つて、左右される事が多い。かように吾々の一生われくに對して、重大な關係くわんけいのある職業の選擇は餘程慎重よほどしんちゆうに注意しなければならぬ。

次に今職業せんたくを選擇する場合、注意しなければならぬ諸條しよてうを順次説明してみよう。

第二節 職業選擇に注意すべき事項

一、自分がどう云ふ職業に適してゐるかを考へること

どんな職業に従事する者でも、身體が強健でなければならぬ事は、申すまでもないことであるが、職業の性質に因つては、過激な肉體的勞働を必要とするもの、精神的勞働を主とするものがあり、肉體的勞働を主とするものの中にも、全身を活動させるものがあり、手足の一部を活動させるものがある。これ等の點から、先づ第一に自分の體質が、どう云ふ職業に適して居るかを考へなければならぬ。

身體的條件が職業選擇上重要な條件となる様に、精神的條件も、亦よく考へなければならぬ。即ち智能が低いとか、高いとか、どう云ふ性格であるか、又どう云ふ趣味を持つてゐるかと云ふ様な事を、職業選擇に際しては、よく考へねばならぬ。最近メソタルテストの方法も非常に進歩して、至る所の小學校で、卒業生に對して検査を行つて居る。自分の頭のよし惡しを考へて、學校を選び、職業を選ぶのは大切な事であ

る。又自分の性格や趣味もよく考へ、或はよく恩師なり、友人なり、父兄なりにきいて、自分の希望する職業と考へ合せてみなければならぬ。

二、自分の家族が自分に對してどう云ふ職業を希望してゐるか考へること

自分が長男であるか、次男、三男であるかに依つて、職業を選ぶ上に注意を要する事がある。長男は家督相續者であるから、多くの場合、家業を念頭に置く事が大切である。然し昔の様に、必らず父祖の業を繼がなければならぬと云ふのではないが、親の職業を繼いだ方が、都合のよい點も多い。例へば従來農業を家業として來た者が急に他の職業に轉ずる時は、田畑を處分し、多くの農具を賣拂はなければならぬ。それを引繼いで農業を選べば、父祖傳來の田畑農具を、最も有効に使用することが出来る。醫師の場合もやはり之れと同様に、醫師を開業してゐたものが他の職に轉ずる場合は、多くの資本を費したものを、殆んど無價値に處分しなければならぬこともある。長男は父祖の業を繼承するのが、よい場合が多い、次男三男の場合は、父祖の業

を繼ぐ必要もないから、本人を主として、自由に選擇することが出来る。然し次男三男は一家を創立すると云ふ重大な使命を持つてゐるのであるから、充分に、これらの點を考へなければならぬ。又長男次男に限らず現在の住居を考へる必要がある。なせかならば、農村に住んでゐるか、都會に住んでゐるかに依つて、職業の選擇に多少の違ひが起るからである。要するに家族の一員として、自分はどんな境遇にあるかと云ふことを考へて、職業を選定しなければならぬ。

三、資力の状態を考へること

色々の職業中には、相當な資本を要するものもあり、そうでないものもある。普通教育を卒へただけで、直ちに就職し得るものもあり、中等教育を受けた後、就職するものもあり、更に進んで専門教育を受けなければ、就職し得ないものもある。即ち職に就く時に要する費用(資本)と就職迄の準備(学校教育)に要する費用とを考へてみる事が大切である。

四、先輩知人との關係を考へること

獨力で自己の職業を開拓し行くと云ふ堅い信念と、決意は極めて大切な事であるが自分の知己や先輩や親族等の關係を考へて、便利な方向を選ぶと云ふことは、賢明な方法である。それを問やひきと言つて、卑しめる必要はない。よい條件があるならば進んでそれを利用すべきである。勿論無闇に他に依頼すると言ふ薄志弱行の人物では到底成功は望めないことは云ふまでもない。

第二章 醫者とはどんなものか

第一節 醫者の役目

醫者にならうと思ふ人は、先づ醫者とはどんな事をするものか、どうすれば醫者になれるかと云ふ事を知る必要がある。言ふまでもなく、醫者は病氣の原因を究め治療の方針を立て、疾病を除いて健康を回復させるのが其の主な役目である。

世の中が進歩するにつれて、凡ての事が次第に分業となり、醫者も専門の如何によ

り、それぞれ専門的な知識を有つてゐなければならぬ。昔は醫者と言へば、どんな病氣に對しても、その治療を心得て居たが、その範圍が廣いだけ、随分誤つた診断をしたり、したがつて誤まつた治療をしたものであるが、今日科學と共に醫術も進歩し、精巧な機械、電氣の應用等從來になかつたものが、どんどん考案發明されて居る。醫術が複雑になればなる程、次第に専門の研究は細かに分れて、現在に於いては、極く山間の外は、大抵専門醫を求める事が出来る様になつた。即ち現在に於いては、大體の醫術を心得た上に、特にある部分を深く研究した人が、醫者として世間から尊敬されて居る。それではどんな風に研究する部面があるかと言ふと、色々な分け方があるが、先づ次の様に思つて差支ないと思ふ。

内科、外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、産科、婦人科、精神病科、小兒科、及び齒科。

今之等の各科について、極めて簡単に其の仕事の説明しよう。

内科

人の病氣の中、體內にある臓器に關係ある病氣を、衛生的に食餌的に、藥物的に、治療する醫療の科である、然し内科と言つても、明らかに他の科と區別の出来ない病氣もある。呼吸器、循環器、消化器等の病氣が内科で取扱ふのが、其の主な病氣である。

外科

人體の外部の創傷、皮膚病等に關する治療を取扱ふ分科で、これも明瞭に他の科と區別し難いものがある。鼻の形の悪いのを良くする手術や、眼瞼を切取つて美しい眼にしたり、皮膚の一部分を他へつけたりする、整形外科と言ふものも、この科に屬して居る。

皮膚病科

皮膚病に對して治療をなすものである。即ち疥癬、白癬、癩病、毛髮の病氣、禿頭病、凍傷、吹出物等に對して治療をする。

泌尿器科

醫者になるには

八

泌尿器即ち腎臟、腎盂、輸尿管、膀胱、尿道と、これに附屬する器官の病氣を治療する。

耳鼻咽喉科

耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭等の病氣を治療する。

眼科

申すまでもなく眼の病氣を治療する。

産科婦人科

妊娠、分娩、婦人特有の病氣について治療をする。

精神病科

精神作用即ち知、情、意の作用に故障がある場合、之を治療する。

小兒科

小兒の病氣を治療するのである。

齒科

齒科はさきに述べた各科とは、別に獨立したもので、齒科醫になるにも全く別の道がある。

第二節 醫者の資格

醫者になる爲には、醫師法に定めてある資格を有たなければならぬ。今其の主なるものを左に掲げませう。

醫師法

第一條 醫師タラントスル者ハ左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

一、大學令ニ依ル大學ニ於テ醫學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ官立公立

若ハ文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校醫學科ヲ卒業シタル者

二、醫師ノ試験ニ合格シタル者

三、外國醫學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ

該當スル者

第二章 醫者とはどんなものか

九

醫者になるには

一〇

醫師試験ハ中學校若ハ修業年限四ケ年以上ノ高等女學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ醫學專門學校ヲ卒業シ若ハ外國醫學校ニ於テ四ケ年以上ノ醫學課程ヲ修了シタル者ニ非ザレバ之ヲ受クルコトヲ得ズ

第二條 左ニ掲グル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ズ

一、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二、未成年者、禁治産者、準禁治産者、聾者、啞者及ビ盲者

第三條 六年未滿ノ懲役若ハ禁錮ニ處セラレタル者又ハ醫事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者ニハ免許ヲ與ヘザルコトアルベシ

即ち醫者になるには、専門學校以上を卒業しなければならぬ。醫學校の中には學校を卒業しただけで、醫者の資格を得られる學校と、卒業後試験を受けなければ、之を得られない學校とがあるが、之等の學校については後で詳しく述べる。

齒科醫師法

第一條 齒科醫師タラントスル者ハ左ノ資格ヲ有シ内務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ

要ス

一、文部大臣ノ指定シタル齒科醫學專門學校ヲ卒業シタル者

二、齒科醫師試験ニ合格シタル者

三、外國齒科醫學學校ヲ卒業シ又ハ外國ニ於テ醫師免許ヲ得タル者ニシテ命令ノ規定ニ該當スル者

齒科醫も又齒科醫學專門學校を卒業しなければならぬ。第二條以下は醫師法と同様であつて、重い罪を犯した者や、不具者は醫師の資格を與へられない。

第三節 醫者と人格

醫は仁術なりと昔から言はれて居るが、仁とは慈愛の心、同情の心であつて、病人に接した時、安堵と信頼の心を起させるのは、此の心の如何に因る。人に接するに親切で、沈着な人は醫者として成功する。勿論経験を積み、技術の勝れた人でなければ如何に徳望家であつても、貴重な生命を托すことは出来ない。

名醫として謳はれた人は、よく調べて見ると、必らず徳の高い技術の勝れた人である。唯物質的に報酬の多いか少いかによつて、病人の取扱を區別する様な人は、次第に信用をなくするであらう。

第四節 醫者の収入

醫師となる資格を得てから、病院に勤務し或は獨立で開業する場合等、夫々収入には多大の差異がある。病院其の他に勤務する場合には、最初七八十圓から百二十三十圓位の俸給が得られる。

獨立で開業した場合には、自己の技術の如何とか聲望とか、場所によつて一定でないが、最低月百五十圓から二百圓、少し聲望も高まり、経験も積めば五百圓から千圓、それからは際限のないものである。

第五節 醫者と風采

醫者が不潔な服装をしたり、貧弱な體軀であつたり、不健康さうな様子をしてゐては、風采の上から立派な醫者と言ふことは出来ない。醫者皆紳士として恥ぢない服装と態度を持たねばならぬ。醫者の収入は最初から相當多いのであるから、紳士として恥ぢない風采を保つことも容易であらう。

第六節 醫者の樂しみ

幾多の病人から生命の恩人として尊敬され、重態にあつた患者が健康を回復して、あなたのおかげですと、心から感謝された時の愉快はどんなであらう、之は醫者のみの味へる愉快である。ある大學病院へ入院した、五つになる男の子があつた。疫痢と云ふ傳染病に罹つてゐたのである。大學の傳染病掛の醫者が、早速診察したのである。餘程の重態であつた。早速應急の手當をして殆んど、つききりで病氣の経過を看守つてゐた。幾度危険状態になつたか知れませんが、その度毎に注射をしたり、投薬をした。二三日と言ふものは碌に眠りもしないで、手當を加へた甲斐があつて、危い生命をと

りとめ、やがて退院の出来る様になつた。その頃子供は醫者に親しんで、退院するのを大變悲しんでゐた。醫者も自分の子供の様に思はれると云つて涙ぐんで、去り行く子供の頭をなでてゐた。とても助からない様に見えた重病が治癒された時、どんなに心の内から、喜びが湧いて來るのでせう。

何事も苦樂は相伴ふものである。醫者は尊い人の命を扱ふ極めて重要な天職と、心に考へる時、どんなに夜遅くでも、寢床を蹴つて往診することが出来るであらう。

第三章 醫者になるにはどんな人が良いか

第一節 身體と精神

醫者は先づ身體が強健でなければならぬ。人の病氣を治療する言はば、健康の本と爲らなければいけない。醫者が病弱であつたり、不具者であつてはならぬ。更に健康な上に容貌が相當よく、人に接して、不快の感を與へない人であることが大切で

ある。外貌が如何に整つて居ても、心が落ちついてゐなかつたり、邪念を有つてゐては人によい感じを與ふことは出来ない。これなら大丈夫と、信頼し生命を安んじて托す様な人になるには、生れつきの容姿の上に、心の中から表れた美しさが必要である。合理的に實驗的に行つて醫學を樹立したのは、ヒポクラテスで、彼はギリシアに生れ醫者の父と言はれてゐる。その人が理想的醫師の養成法を述べてゐる一節に、次の様なものがある。

完全な醫學の知識を收めんとする者は、何人も次の如き特徴、長所を有つてゐなければならぬ。即ち天賦の性格、教導、研學に好適なる境遇、幼時の教育、勤勉、時日である。最も必要なるは天分である。何となれば、天分にそむけば何事も上達せず。上達の望ある天分あれば、醫學上の教導が効果を齎す。醫學に志す者は醫學教育に適當なる所に於て、若き頃より修業を始め、沈思反省して常に教育の本旨に適ふべく心掛けねばならぬ。又根底となりつゝある教導に、他日豊なる實を結ばしめる爲に、勤勉、忍耐の徳を養はねばならぬ。

醫者には天分が必要であると言ふのは、醫者になる迄の醫學の修得には、充分な素質がある者でなければならぬと、言ふことを述べたのである。今日どの醫學専門學校大學にしても、入學試験は極めて激烈である、並大抵の者では入學は出来ない。然し努力は天才を作る、勤勉、忍耐に目的を達する様努力すれば、不可能であると言ふことはないと思ふ。

醫者になる人は、沈着で、冷性で然かも明朗、快活な性質を有つてゐる人が、最も好く適して居る。緻密で想像力、觀察力の豊かなことも、又醫者になる人の必要な條件である。

自分は醫者には適しないと、断念する方が多いかも知れないが、どの職業も皆最初から、適材が適所にあつたもの許りではない。むしろ、その職業を選んで、その職業に向つて邁進して居る中に、職業が人に適する様に、變化させてくれると言つてよいのである。

要は醫者になる人は、頭腦の明晰な豊かな天分を有つた人なら、誰でもそれに望をかけて、突進して行く可きである。

第二節 家族としての境遇

代々醫を業として來た家に生れた人は、何を置いても、その業を嗣ぐと云ふ考を有つがよい。長男の場合は、尙更のこと、次男、三男の場合でも、兄弟互に力を協せて一家の繁榮につとめることも良いと思ふ。

又新に醫者として立ちたいと云ふ者は、兩親始め年長者の心よい賛成を得ることが必要である。更に考へねばならぬことは、開業するか、勤めに出るかを豫め定めてかかることである。勿論最後は、開業にまで行くべきであるが、開業の場合の場所等も考へて置くのは至極用意周到なことである。

第三節 資力との關係

醫者になるまでに要する費用は、可成り多い。今四ヶ年の醫學専門學校を卒業する

には、どの位の費用が要るかを調べて見ると、大體次の様である。

授業料	六〇〇圓 (年額一五〇圓)
卒業試験料	五〇圓
教練費	四〇圓 (年額約一〇圓)
實習費	四〇圓 (年額約一〇圓)
校友會費	四五圓 (入會金五圓 年額一〇圓)
被服費	二〇〇圓
下宿料	一、三二〇圓 (月額三〇圓)
雜費書物費	三五〇圓
計	二、六四五圓

之は某私立の醫學專門學校を標準にして、最少の四ヶ年の學資である。勿論、人に依つて、之より少い學資でも行つて居る者もある。苦學をして、他に一時の職業を見つけ、そこで働いて生活し、學資を得てゐる者さへある。

尙高等學校を経て、大學の醫學部に進む者の費用を概算すると(學校の最も多い東京を標準にして)次の如くである。

第一高等學校學費

第一學年のみの費用

入學金	五圓	校友會入會金	五圓
食器補充費	二圓	制服代	夏 十圓、冬 三十圓
制帽(冬)	五圓	靴代	十圓
合計	六十七圓		

各級共通の費用

授業料	六十五圓	行軍費	五圓
寄宿食費	百六十圓	諸會費	三十五圓
雜費	百六十圓	校友會費	十三圓

醫者になるには

二〇

寄宿料	十五圓	教科書代	十五圓
諸寄附金	十圓		
合計	四百七十八圓		

更に之を通計すると

一年級合計五百四十五圓となり、二年級と三年級とは各四百七十八圓となり、三年合計千五百一圓となり、一ケ年平均五百圓參拾參錢、一ケ月平均(十一ケ月として)四十五圓五十八錢となる。

帝國大學學費

東京帝大の學費は各學部により、又各學科により多少の差異はあるが、醫學部は在學四ケ年であるから、總計に於て他より多くなつて居る。

醫學部四ケ年間學費	四百圓
入學料	五圓
授業料	四百圓

下宿料	千七百二十八圓	制服制帽代	六百二十五圓
靴代	五十五圓	諸雜費 (小使金)	九百六十圓
合計	三千七百七十三圓		

右の外に次の様な學費が要る。

學部別	學科別	教科書參	學用品及び	諸會費	合計	前表合算
		考書其他	製圖器具費			總學費

醫學部	醫學科	三〇〇圓	一八〇圓	五〇圓	五三〇圓	四、三〇三圓
	藥學科	一五〇圓	三〇〇圓	二〇圓	四七〇圓	四、二四三圓

尤も右の内小使金の如きは、平均の所を示したもので、節約する人は十圓位でも間に合ふし、贅澤な人なら五十圓でも少いであらう。尙第一高等學校にも、東京帝國大學にも、共濟部、相談部と云ふものが設けられてあつて、翻譯とか家庭教師とか言つた様な仕事を見付けてくれるから、學資の足しにしようと云ふ人は利用すればよい。他の官公私立の大學等も、大體右と類似してゐるものと考へてよいのである。醫者に

なるには小學校を卒業してから、直ちに醫學の専門學校へ入學することは出来ないのである。中學校を卒業するか、卒業したと同じ資格の試験に合格しなければならぬ。今中學校を卒業すると假定すれば右の外に、學資として約二千圓は要ると思ふ。之は下宿生活をして居る者についての學資であるが、自宅から通學する便利のある者は餘程少い學資で足る。

以上は主として學資について申したのである。醫者となつた以上、開業して獨立經營する迄考へるのが至當である。開業する場合の資本は學資以上に多く要る。然し、其の資本は、卒業後自分の力で作つてからでも差支ない、醫者になるには、先づ七八千圓の學費を要するものと思へばよい。

第四章 醫者になる道

第一節 醫者になれる學校

醫者の資格の話の所で申した醫師法第一條に該當し、卒業すれば直ちに開業の出来る學校を紹介しよう。

東京帝國大學醫學部

位置 東京市本郷區本富士町 (電話小石川(85)三〇二二番)

目的 國家に須要なる學術の理論及應用を教授し、並に其の蘊奥を攻究する

を目的とし兼て、人格の陶冶及國家思想の涵養に留意す

内容 醫學部(醫學科、藥學科)

修業年限 四ヶ年以上

入學期 四月一日より三十日以内、但し學年開始前に入學を許可することを妨げず。

入學資格 高等學校高等科を卒へたる者又は之と同等以上の學力ある者

左に掲ぐる者は高等學校高等科を卒へたる者と同等以上の學力ありと認む

醫者になるには

- 一、學習院高等科を卒へたる者
- 二、學部に於て試験を行ひ高等學校高等科を卒へたる者と同等以上の學力ありと認めたる者

學費 授業料年額百圓

大學院 各學部の卒業者又は之と同等以上の學力ある者を容る。在學期二年

總長 法學博士 小野塚喜平次

京都帝國大學醫學部

位置 京都市上京區吉田町

内容 醫學部

修業年限 四ヶ年

入學資格 東京帝國大學に同じ

東北帝國大學醫學部

位置 仙臺市北四番町

内容 醫學部

修業年限 四ヶ年

入學資格 東京帝國大學に同じ

北海道帝國大學醫學部

位置 札幌市北八條西六丁目

内容 醫學部

修業年限 四ヶ年

入學資格 本大學豫科卒業者

九州帝國大學醫學部

位置 福岡縣筑紫郡千代町

醫者になるには

内 容 醫 學 部
 修業年限 四ヶ年
 入學資格 東京帝國大學に同じ

京城帝國大學醫學部(朝鮮總督府立)

位 置 京城府蓮建洞
 内 容 醫 學 部
 修業年限 四ヶ年
 入學資格 一、豫科修了者
 二、高等學校及學習院高等科卒業者
 三、本校に於て施行する學力檢定試驗合格者

岡山醫科大學(官立)

位 置 岡山市岡
 修業年限 四ヶ年
 入學資格 高等學校高等科理科卒業生、學習院高等科理科卒業生、缺員ある時官立大學卒業生、高等學校及學習院文科卒業生、大學豫科修了者、醫學專門學校卒業生にして相當學力ありと認めたる者

新潟醫科大學(官立)

位 置 新潟市旭町通一番町
 修業年限 四ヶ年
 入學資格 高等學校高等科理科卒業生、岡山醫大に同じ

千葉醫科大學(官立)

位 置 千葉縣千葉郡都村

醫者になるには

二八

修業年限 四ヶ年
入學資格 高等學校高等科理科卒業者等

金澤醫科大學(官立)

位置 金澤市土取場永町
修業年限 四ヶ年
入學資格 千葉醫科大學に同じ

長崎醫科大學(官立)

位置 長崎市里郷
修業年限 四ヶ年
入學資格 千葉醫科大學に同じ

大阪帝國大學

位置 大阪市北區常安町(但し豫科は大阪市外石橋待兼山)
修業年限 四ヶ年
入學資格 本大學豫科修了者、高等學校高等科卒業生、豫科入學資格を有し、且つ本大學に於て施行する檢定試験に合格したる者

名古屋醫科大學(官立)

位置 名古屋市中區鶴舞町
修業年限 四ヶ年
入學資格 本大學豫科修了者を入學せしめ尙缺員ある時は、舊愛知縣立醫學專門學校卒業生、高等學校理科卒業生を入學せしむ

京都府立醫科大學(公立)

所在地 京都市上京區大將軍鷹司町

醫者になるには

三〇

修業年限 四ヶ年

入學資格 本大學豫科修了者、高等學校高等科卒業者、豫科入學資格を有し、且本大學に於て施行する檢定試験に合格したる者

大 學 豫 科

修業年限 三ヶ年

入學資格 中學四年修了者、高等學校尋常科修了者、高檢合格者專檢合格者、同指定者、右學校三月卒業見込者

熊 本 醫 科 大 學 (官 立)

所在地 熊本市本庄町 (但し豫科は同市大江町)

修業年限 四ヶ年

入學資格 京都府立醫科大學に同じ

滿 洲 醫 科 大 學 (私 立)

所在地 滿洲奉天富士町

修業年限 四ヶ年

備 考 附屬豫備科及専門部あり、専門部は滿洲國人に實地醫學を教授し、修業年限四ヶ年とす

慶 應 義 塾 大 學 醫 學 部 (私 立)

所在地 東京市四谷區信濃町 (電話(35)二、三〇〇番)

目 的 大學令に依り醫學を教授す

修業年限 四ヶ年

入學資格 本大學豫科修了者、尙缺員ある場合に限り試験の上左記の者を入學せしむることあるべし

一、高等學校高等科卒業生、二、三年制の大學豫科修了者
學費 入學金五圓、入學試験料五圓、授業料一ヶ年分二百六十圓、體育會費

年額七圓、實驗費若干

大學院 學部卒業生を容る、在學料一學年金三十圓

總長 法學博士林毅陸

東京慈惠會醫科大學（私立）

所在地 東京市芝區愛宕町二丁目（電話芝43三、五三六番）

目的 大學令に依り醫學の理論及應用を教授し其蘊奥を研究せしめ兼て人格を陶冶す

修業年限 學部四ヶ年、豫科二ヶ年、研究科二ヶ年以上

入學期 毎年四月

入學資格 豫科は（一）中學校卒業生、（二）專檢合格者、（三）同指定者

學部は（一）本大學豫科修了者（二）專門學校令に據る私立東京慈惠會醫院醫學專門學校卒業生（三）高等學校高等科卒業生——の順位に依る

研究科は（一）本大學卒業の醫學士（二）帝大醫學部又は大學令により認定せられたる醫學部卒業の醫學士等

學費 入學資格檢定料金十圓、入學料金十圓、授業料一學年分豫科は金百圓、

學部は金二百二十圓、研究科の研究料一ヶ年金二百圓、學部の卒業試

験料金五十圓

學長 醫學博士金杉英五郎

備考 本學部は研究に際し他校に誇る點は學用死體の多い點である。多くの醫學校では獸類又はアルコール漬死體等に依る場合が多いが、本校は學生自身が診察した病人の死體を解剖する便がある。又英語を以て教授するのも一特色といふべきか。

日本醫科大學（私立）

所在地 東京市本郷區駒込千駄木町五九（電話小石川五二〇〇・五二〇一）

目的 前校に同じ

修業年限 學部四年以上、豫科二年、研究科二年以上

入學期 毎年四月の學年始とす

入學資格 豫科は（一）中學校卒業生（二）專檢合格者（三）同指定者

學部は本大學豫科修了者を入學せしめ、尙缺員あるときは次の順位に依り試験の上入學を許可することあるべし（一）日本醫學專門學校卒業生（二）高等學校高等科理科の卒業生（三）同文科の卒業生及大學豫科の修了者

研究科は（一）本大學出身の醫學士（二）他の大學出身の醫學士等

學費 前校所載の分と略同じであるから略す

學長 醫學博士 鹽澤廣重

備考 特別入學生外國人及入學資格を有せざる臺灣人及朝鮮人に對するもの及び選科生の規定あり

日本大學專門部醫學科（私立）

所在地 東京市神田區駿河臺北甲賀町（電話神田25）五七番）

目的 專門學校令に依り醫學を教授するを以て目的とす

修業年限 五ヶ年

入學期 毎年四月とす

入學資格 （一）中學校卒業生（二）師範學校卒業生（三）專門學校入學者檢定試験合格者（四）同指定者等

右の資格なき者は特科生とす

入學試験 中學卒業程度にて、英語又獨逸語、數學、國語及漢文、修身の各科に就き試験を行ふ

醫者になるには

三六

學 費 入學金十圓、授業料一ヶ年金二百圓
科 長 醫學博士 八 田 熙
特 典 卒業生は無試験開業の資格あり

日本醫學專門學校（私立）

所在地 東京市木郷區駒込千駄木町五九（電話小石川二五〇〇・二五〇一番）

目的 醫學を教授す

修業年限 豫科一年、本科四年

入學資格 豫科は中學校卒業生、專門學校入學者檢定規程に依る檢定に合格したるもの、又は同規程第八條第一號に依り指定せられたるもの

學 費 入學檢定料十圓、入學料十圓、授業料一學年豫科百圓、本科百五十圓、學生會費十二圓、卒業試験料五十圓

特 典 卒業生は無試験開業の資格あり

校 長 醫學博士 鹽 澤 廣 重

東京醫學專門學校（私立）

所在地 東京市淀橋區大久保一丁目（電話四谷35）一五一番）

目的 醫學を教授す

修業年限 四ヶ年

入學資格 本校に入學せんとする者は、身體健康、品行方正、年齢十七年以上の男子にして左記の一に該當することを要す

一、中學校卒業生

二、專門學校入學者檢定規定に依る檢定を合格したる者

三、同規定第八條第一號に依り指定せられた者

學 費 檢定料十圓、入學料十圓、一學年間授業料百五十圓、校友會費六圓、卒業試験料三十圓

校長 醫學博士 佐藤達次郎
特典 卒業生は無試験開業の資格あり

東京女子醫學專門學校（私立）

所在地 東京市牛込區河田町六番地（電話牛込34）二、三二一番）

目的 醫學を教授す

修業年限 豫科一年 本科四年

入學資格 高等女學校及同等以上の學校と認定せられた諸學校卒業者

學費 授業料年額百五十圓

特典 卒業生は無試験開業の資格がある

校長 吉岡彌生

昭和醫學專門學校（私立）

所在地 東京市荏原區中延町一〇一八番地（電話高輪44）五、六六〇番）

修業年限 本科四ヶ年

入學資格 中學校卒業者等

學費 受験料十圓、授業料年額百五十圓

特典 卒業後は醫學士となり無試験醫師開業の資格あり

校長 醫學博士 岡田和一郎

大阪高等醫學專門學校（私立）

所在地 大阪市外高槻町

修業年限 五ヶ年

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

九州醫學專門學校（私立）

醫者になるには

所在地 久留米市小森野町

修業年限 四ヶ年

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

岩手醫學專門學校（私立）

所在地 盛岡市仁王第一割字内丸

修業年限 四ヶ年

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

京城醫學專門學校（總督府立）

所在地 朝鮮京城府

修業年限 四ヶ年

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

臺灣總督府醫學專門學校（總督府立）

所在地 臺北市東門町

修業年限 四ヶ年

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

齒科の醫者いしゃになれる學校、即ち齒科醫師法第一條に該當がいたうする學校を、次に紹介致しませう。

日本大學專門部齒科（私立）

位置 東京市神田區駿河臺北甲賀町（電話神田五七番）

目的 齒科醫學を教授し併せて其蘊奥を攻究す

修業年限 四ヶ年

入學期 四月

入學資格

中學校及師範學校卒業生、文部大臣の中學校卒業生と同等以上の學力を有するものと指定したる學校の卒業生、高等學校第一學年修了者、修業年限三年以上の大學豫科第一學年修了者

學費

授業料實習費は左の如し

	前期分	後期分
第一年級 授業料	四〇圓	三五圓
實習費	一〇圓	一五圓
第二年級以上 授業料	四〇圓	三五圓
實習費	一五圓	二〇圓

外に校費金五圓五十錢(但し一ヶ年分)

入學金五圓

科長

ドクトル 醫學博士 佐藤運雄

東京高等齒科醫學專門學校(官立)

所在地 東京市本郷區御茶ノ水

修業年限 四ヶ年 授業料 一ヶ年 八十圓

入學資格 中學校卒業生又は同資格者

校長 島峰徹

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

日本齒科醫學專門學校(私立)

位置 東京市麴町區富士見町六丁目 (電話九段一三六〇番)

目的 専ら齒科醫學を教授す

修業年限 四ヶ年(別に研究科二ヶ年以内)

學科 修身、英語、獨逸語、物理、化學、圖畫彫刻、解剖學、生理學、衛生

學、細菌學、病理學、外科學、治術學、診斷學、レントゲン線學、技工學、材料冶金學、齒科矯正學、繙帶學救急法、法醫學、耳鼻咽喉學、臨床實習、科外講義

入學期 四月

入學資格 身體健全品行方正にして左の一に該當するものに限る

一、中學校を卒業したる者

二、專門學校入學者校定試験規程に依る檢定試験に合格したる者

三、同規定第八條に依り指定せられたる者

學費 入學檢定料十圓、入學料十圓、授業料一學年百五十圓、實習費四十圓

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

校長 ドクトル・オブ・サイエンス 中原市五郎

東京齒科醫學專門學校（私立）

所在地 東京市神田區三崎町二丁目九番地（電話神田三四九五番）

目的 專門學校令に依り齒科醫學を教授す

修業年限 四ヶ年

學科 修身、英語、獨逸語、物理、化學、圖畫彫刻、解剖學、生理學、衛生學、細菌學、病理學、外科學、治術學、診斷學、レントゲン線學、技工學、材料冶金學、齒科矯正學、繙帶學救急法、法醫學、耳鼻咽喉學、臨床實習、科外講義

入學期 四月の學年始とす

入學資格 一、中學校卒業者

二、師範學校卒業者

三、專門學校入學資格試験檢定合格者、同指定者

四、高等學校第一學年修了者

五、修業年限三年以上の大學豫科第一學年修了者

六、各種實業學校卒業者（但し尋常小學校卒業程度とする修業年限五年高小卒業を入學程度とする修業年限三年のもの）

學費 検定料十圓、入學料十圓、授業料一年間百五十圓、實習費若干
 特典 無試験開業の資格を卒業生に對して與へらる
 校長 ドクトル・オブ・ロース 血脇守之助

大阪齒科醫學專門學校（私立）

所在地 大阪市東成區生野國分町

修業年限 四ヶ年

特典 卒業生は無試験開業の資格あり

授業料 年額百五十圓

九州齒科醫學專門學校（私立）

所在地 福岡市今泉町七〇

修業年限 四ヶ年

特典 卒業生は無試験齒科醫開業の資格あり

授業料 年額百五十圓

京城齒科醫學專門學校（私立）

所在地 朝鮮京城府長谷川町

修業年限 三ヶ年

特典 卒業生は無試験齒科醫開業の資格あり

以上の諸學校を卒業することが開業の資格を得する方法である。昔は試験によつて資格を與へる寛大な規定があつたが、現在唯試験だけでは、齒科醫になれない。必ず専門學校令によつて、設立された修業年限三ヶ年以上の、學校卒業生でなければならぬ。

第二節 醫者になれる學校の入學資格

大學と専門學校に依つて、入學試験を受けられる資格は違つてゐる。

大學の中にも、豫科と言ふものがない學校と、豫科を設けてある學校とがある。

豫科のある學校は、先づ豫科に入學しなければならぬ。豫科を卒業すれば、試験もしないで、大學の學部に入學する事が出来る。然し同じ學校だけの事で、他の大學へ入學しようとすれば、矢張り、入學試験を受けなければならぬ。豫科のない大學は、高等學校を卒業して居る者は、皆試験を受けることが出来る。高等學校でなくとも、高等學校卒業者と、同等以上の學力ありと認められた學校卒業者は、入學試験を受けることが出来る。

各大學の入學資格については、第一節に其の大體を書いてあるが、詳しく知りたい方は、直接其の學校へ照會するがよい。

醫學専門學校や、齒科醫學専門學校の入學試験を受けることの出来る者は、次の資格を有つて居なければならぬ。

一、中學校卒業者

二、師範學校卒業者

三、専門學校入學者檢定試験合格者（專檢合格者と略して言ふ）

四、中學校卒業者と同等以上の學力を有するものと指定された者

即ち、商業學校、工業學校、農業學校、水産學校、商船學校等の實業學校卒業者

右の資格のない者を入學させる學校もあるが、特科生と言つて、卒業しても何の資格も與へてくれない。

實業學校卒業者が、中學校卒業者と同様に、専門學校に入學の資格を與へられたのは、大正十三年以來のことである。

實業學校と言つても、次の條件のない學校では駄目である。

一、尋常小學卒業程度を以て、入學資格とする修業年限五ケ年、實業學校卒業者（従前の甲種程度）

二、高等小學卒業程度を以て、入學資格とする修業年限三ケ年實業學校卒業者（従

前の甲種程度)

第三節 先づ入學資格を作れ

大學に入學するにしても、専門學校に入學するにしても、入學試験を受ける資格を作ることが第一の問題である。即ち、先づ中學校を卒業しなければならぬ。醫者にならうと、最初から決めて居る方は、必らず中學校を卒業するがよい。他の師範學校とか、實業學校を卒業しても差支へないが、競争の激烈な醫者になる學校を志願して見事試験を突破し、榮冠を頭上に輝かすには、中學校が最もよい。

中學校にも極めて多くの學校があるが、出来ることなら、府立、縣立、市立と言ふ學校を卒業するのがよい。さう言ふ學校は又、入學試験に仲々骨が折れる。競争が烈しければ烈しい程、その競争に打勝つた時の愉快は大きいものである。學校を選ぶ上に餘程注意しなければならぬ。私立の學校の中にも府立、縣立、市立に劣らないよい成績を擧げて居る學校もあるから、私立は駄目だと侮つてはいけませんが、概して、費用も多くかゝり、よくない様である。

中學校卒業となれば、今度は、各自の希望によつて、醫專なり、齒科醫專に入學する。そして三年なり四年、或は五年勉強すれば、立派な醫者になれる。

最初から醫科の大學を望む方は、中學卒業の資格を得たならば、今度は高等學校なり、大學豫科を受験して、入學しなければならぬ。高等學校や、三年制の大學豫科は、中學を卒業しなくても、入學資格がある。今次に高等學校入學資格を示しませう。

- 一、中學四年修了者
- 二、高等學校尋常科修了者
- 三、高檢合格者
- 四、專檢合格者
- 五、高檢指定者
- 六、專檢指定者

右について、説明して見ると、高等學校尋常科と言ふのは、修業年限が四年で、尋

常小學校卒業者、又は尋常小學校五年生在學中の者が入學するので、中學の四年修了と同じ程度になる。高等學校の中に尋常科、高等科と言ふのがあつて、尋常科卒業者は直ちに高等科へ入學の出来る様になつてゐる。

どの高等學校にも、尋常科と高等科があるのではない。高檢合格者と言ふのは、高等學校高等科入學資格の試験に、合格した者を言ふのである。

高等學校及大學豫科の入學資格中「文部大臣に於て、高等學校の入學に關し指定したる者」とあるは左の學校の修了者を指すので、是等學校の修了者は、官公私立高等學校或は大學豫科（三ヶ年のもの）に入學資格がある。

△私立明治學院中學部第四學年修了者、私立青山學院中學部第四學年修了者、私立曹洞宗第一中學校第四學年修了者、等の如き、中學に相當する學校の四年修了者（學校名略す。）

△朝鮮高等普通學校補習科第一年修了者

△陸軍幼年學校卒業者

專檢指定者と言ふのは、中學校卒業者と、同等以上の學力ありと指定されてゐるものである。即ち是等の學校を卒業又は修了した者は、中學校卒業者と同資格で、すべての高等學校專門學校に入學の資格がある。その學校を次に示さう。

△師範學校、元尋常師範學校、元師範學校高等師範科卒業者

△陸軍中央幼年學校本科卒業者

△東京府私立明治學院普通部卒業生、東京府私立青山學院中等科、東京府私立眞宗東京中學等中學校に相當する學校の卒業生

△朝鮮高等普通學校補習科卒業生

△陸軍士官學校豫科一年修了者

△高等學校一學年修了者

△修業年限三年の大學豫科一學年修了者

△男子實業學校卒業生（但し尋常小學校卒業程度を以て入學資格とする修業年限五年高等小學校卒業程度を以て、入學資格とする修業年限三年、若しくは之と同等

以上の實業學校卒業者に限る)

△小學校本科正教員免許狀所有者(但し男子に在りては英語に付小學校本科正教員試験檢定に合格したる者、又は英語に付小學校專科正教員免許狀を有する者に限る)

△海軍機關學校、海軍經理學校、海軍兵學校第一學年修了者(但し大正九年以後の入學者に限る)

△水産講習所本科第一學年修了者(但し大正十三年以後の入學者に限る)
次に高等學校の代表的なものについて、其の内容を調べませう。

第一高等學校(高等科)

所在地 東京市本郷區向ヶ岡彌生町 (電話小石川一九八番)

目的 高等教育を授け、帝國大學に入學せんとする者の爲めに豫備知識を與ふ。

修業年限及科別 修業年限は三ケ年

甲類(入學後英語を第一外國語とするもの)

文科 乙類(同 獨語を第二外國語とするもの)

丙類(同 佛語を第一外國語とするもの)

理科 甲類(英語を第一外國語とするもの)

乙類(獨語を第一外國語とするもの)

學科 文科は修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歴史、地理、哲學概論、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操

理科は修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、礦物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操

第一外國語は中學校に於て生徒の履修したる外國語とす、但し生徒の

志望に依り、第一外國語の種類を轉換することを得しむ

入學期 四月の學年始一回とす

入學資格

左の各號の一に該當し、且つ體格検査を受け之に合格することを要す
(一)中學四年修了者(二)高等學校尋常科修了者(三)高檢合格者(四)專檢合格者(五)高檢指定者(六)專檢指定者

學費

入學檢定料金五圓、入學料金三圓、授業料一ヶ年金六十五圓

寄宿寮

入寮するを原則とす、但し特種の事情ある者は、通學を許すことあるべし

校長

森 卷 吉

東京高等學校(高等科、尋常科)

所在地

東京市中野區榮町通一(電話四谷二一〇七番)

目的

高等普通教育を授くるを以て目的とし、帝國大學に接續す

科別及修業年限

高等科(文科、理科に分る)三年、尋常科四年

(甲類(入學後英語を第一外國語とするもの)

文科

乙類(同 獨語を第一外國語とするもの)

丙類(同 佛語を第一外國語とするもの)

甲類(文科甲類に同じ)

理科 乙類(同 乙類に同じ)

丙類(同 丙類に同じ)

入學資格

尋常科一年は、(イ)尋常小學卒業生(ロ)若くは其年三月迄に卒業見込ある六年在學者(ハ)現に五年に在學し學術性行優秀校長の認定推薦したるもの、其年滿十三歳以下の者

高等科は、本校尋常科より進入する者の外一般より半數を募集す

入學期、學費等 第一高等學校に同じ

校長 塚原政次

備考 我國最初の七年制高等學校である。

他の高等學校も大同小異であるから、其の所在地だけを示して置きます。

全國各官立高等學校

所在地

- 第二高等學校 仙臺市北六番町
- 第三高等學校 京都市上京區吉田二本松町
- 第四高等學校 金澤市仙石町
- 第五高等學校 熊本市黒髮町
- 第六高等學校 岡山市大字國富
- 第七高等學校造士館 鹿兒島市山下町
- 第八高等學校 名古屋市南區瑞穂町
- 新潟高等學校 新潟市西大畑町
- 松本高等學校 松本市縣町
- 山口高等學校 山口縣山口市

- 松山高等學校 松山市持田町
- 水戸高等學校 水戸市外常盤村
- 山形高等學校 山形市外、小白川
- 佐賀高等學校 佐賀市外、本庄村
- 弘前高等學校 弘前市富田町
- 松江高等學校 松江市外、川津村
- 大阪高等學校 大阪市住吉區王子町三丁目
- 浦和高等學校 埼玉縣浦和町
- 福岡高等學校 福岡市鳥飼六本松
- 静岡高等學校 静岡市外、安東村
- 高知高等學校 高知市江ノ口
- 姫路高等學校 姫路市外、安室村
- 廣島高等學校 廣島市皆實町

公私立高等學校

- 富山高等學校 富山縣上新川郡大廣田
- 浪速高等學校 大阪府下櫻井谷
- 府立高等學校 東京市目黒區碑衾町
- 武藏高等學校 東京市板橋區中新井町一丁目
- 甲南高等學校 兵庫縣武庫郡本山村
- 成蹊高等學校 東京市外吉祥寺
- 成城高等學校 東京府下砧村

諸君は右に示してある何れかの學校を選んで、その入學試験を突破し、尋常科から進むものは七年、高等科へ入つたものは、三年努力すれば、卒業出来る。それから宿望の帝大醫學部なり、醫科大學に進むものである。こゝで四年間學理と實地を研究すれば、立派な醫者となり、醫學士と言ふ學士の肩書を得て社會に出て來るのである。

各人の境遇に依つて、其の進む道は違つてゐるが、第一の目標は、醫者になれる學校への入學資格を得るのが急務である。

第四節 獨學者の道

學問を以て、立身出世を望む者は、それ相當の學校を経るのが、最も近道であることは論を待たない。例へば帝大を卒業して醫學士にならうとすれば、尋常小學校六ヶ年、中學校四ヶ年、高等學校高等科又は大學豫科三ヶ年、大學四ヶ年、合計十七年間學校生活をする必要がある。一家の經濟が許すならば、此の様な正系をたどるのが理想的である。各人の事情は中々左様にいかぬこともある。多くの人々の中には學資が續かぬ爲に、好きな學問の道を容易に捨てかねる人もあるだらう。この様な人には、幸に獨學者の進むべき道も開けて居るから、決して落膽することはない。唯、それは正系の誰もが容易に歩ける大道とは違つて、傍系とも言ふ、極めて嶮岨な道、困難な道を進むのであるから、正系を進む人に比べて、數段骨の折れる事である。傍

系を辿る者は豫め覺悟しなくてはならぬ。

今大學に入るまでの順序を示しますと

一、中學校に入つて其の課程を修める代りに、獨學で「専門學校入學者檢定試験に合格するか」、「高等學校入學資格試験」に合格する。

二、高等學校を卒業する代りに獨學で「高等學校卒業學力檢定試験」に合格する。右に依つて見ますと、大學入學まで獨學で進むことが出来る。又醫專なり齒科醫專へ入るには右の「一」即ち専門學校入學檢定試験(專檢)に合格してから入學することが出来る。

醫者になる者にとつては、獨學者にはあまり恵まれて居ないが、それでも日本大學専門部の醫學科や齒学科は晝間と、夜間の授業を行つて居るから、晝間何かの職業について、自ら學資を得ながら、夜勉強する便があるから、先づ專檢を合格することが何よりである。最近夜間中學も増加し、夜間中學を卒業すれば、中學校卒業と同じ資格をくれる學校も數校出來た。獨學者にとつては誠に有難いことである。

さらに商業學校、主計學校、工藝學校等の中に第二本科と言つて、高等小學を卒業した者が入學出来るものがある。修業年限は四ケ年であるから、中學卒業よりは一年遅くなるわけである。

東京の様な學校の多い所に居て、獨學をすると云ふ者は、全然講義録等で勉強しないで、夜間の學校へ通ふ方が最もよいと思ふ。地方に居て學校のない方は、止むを得ないから、講義録や教科書を求めて、一步一步と堅實に築きあげて行かねばならぬ。然し獨學には學科によつては、随分無理なものもある。地方の學校の先生等を頼りにして勉強するのではなくては、時としては、誤解をしてゐても知らない場合がある。獨學者にとつて必要な專檢、高檢等について、次に説明しよう。

(1) 専門學校入學者檢定試験(專檢)

中學校、實業學校(従前の甲種程度)、師範學校、高等女學校、女子實業學校等を卒業しない者に、卒業者と同等の資格を附與するのが、専門學校入學者檢定試験、即ち俗

にいふ「專檢」で、之に合格すれば、前記の學校卒業者と同様、各種高等專門學校に入學も出来るし、普通文官其の他に任せられる事も出来る。此の檢定規程は明治三十六年三月文部省令第十四號で公布され、大正十三年十月改正されたものである。

專門學校入學者檢定規程 (大正十三年十月十一日文部省令第二十二號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ本令ニ依リ學力ノ檢定ヲ受クヘシ

第二條 檢定ヲ分チテ試験檢定及無試験檢定トス

第三條 試験檢定ハ每年少クトモ一回之ヲ行フ

試験檢定ノ出願期限、試験施行ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ告示ス

第四條 檢定試験ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 試験檢定ヲ受ケントスル者ハ受験願書(第一號書式)ニ左ノ書類ヲ添へ受験

地ノ地方廳ヲ經由シ文部大臣ニ出願スヘシ

一、履歷書(第二號書式)

二、戶籍抄本

三、寫眞(手札形トシ出願前三月以内ニ脱帽ニテ撮影シタルモノニシテ裏面ニ撮

影年月日本籍氏名ヲ記載スヘシ)

四、第七條第二項ニ依ル證明書ノ寫又ハ大正七年文部省令第六條第一項ニ依ル證

明書ノ寫

第五、八條ノ資格ヲ證明スル書面

第六條 試験檢定ヲ受ケントスル者ハ手数料トシテ金五圓ヲ納付スヘシ

第七條 試験檢定ニ合格シタルモノニハ合格證書(第三號書式)ヲ交付ス

試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セルモ受験學科目中合格點ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書(第四號書式)ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試験檢定ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試験ヲ

免除ス

前項ノ規定ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニ付
キ之ヲ適用ス

第八條 試験檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ニ就キ中學校若ハ修業年限四年以上
ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト認ムル者ニ對シテハ當該學
科目ノ試験ヲ免除ス

第九條 合格證書ヲ有スル者其ノ氏名本籍ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡失毀損シタル
トキハ其ノ書換若ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得
前項ニ依リ合格證書ノ書換若ハ再交付ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金一圓ヲ納付
スヘシ

第十條 試験ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ對シテハ其ノ試験ヲ停止ス試験後發見
シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其ノ効力ヲ失フ

第十一條 無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ無試験檢定ヲ受クルコ

トヲ得ル者ハ文部大臣ニ於テ專門學校入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四年ノ高
等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本令ニ依リ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ用キ之ヲ願書ニ貼付スヘシ其
ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ專門學校入學者試験檢定施行ニ關スル手續ヲ開始シタルモノニ在
リテハ當該試験檢定ニ關シ仍從前ノ規程ニ依ル(書式略ス)

試験科目及程度 此の試験科目は、男子の方は中學必須科目全體で、英語(英文和
譯、和文英譯、書取、習字、會話若しくは讀方、文法)、數學(算術、代數、平面幾何、
立體幾何、三角法)、國語(解釋、文法、作文、習字)、漢文、(博物、植物、動物、礦
物、生理、衛生、博物通論)、物理、化學、歴史(本邦、西洋、東洋)、地理(本邦、外

國、地學通論) 修身、圖畫(用器畫、自在畫)、體操の十二科目と口答試験、體格検査で、試験程度は中學卒業程度である。

試験施行地と期日 試験は男子は、北海道、東京、京都、大阪の三府、神奈川、兵庫、長崎、埼玉、群馬、千葉、三重、愛知、静岡、長野、宮城、青森、山形、石川、鳥取、岡山、廣島、山口、和歌山、徳島、愛媛、福岡、熊本、宮崎、鹿児島各縣の中に於いて毎年春秋二回、同日に同一問題で行ふのであります。

(2) 高等學校大學豫科入學資格試験(高檢)

高等學校高等科又は、中學四年修了を入學程度とする大學豫科に入學しようとする者でその資格のない者に資格を與へようとするのが、此の試験の目的で、俗に高檢と稱へてゐるものである。

高等學校高等科入學資格試験規程

(大正八年三月二十九日文部省令第九號)

第一條 高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試験ヲ受ケントスル者ハ年齢滿十六歳以上ノ男子ニシテ身體健全品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ

第二條 高等學校高等科入學資格試験ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ

第三條 試験ハ中學校第四學年マテノ必須各學科目ニツキ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

第四條 中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第五條 高等學校高等科入學資格試験ノ問題答案及成績表ハ五ヶ年以上保存スヘシ

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

試験科目及程度 試験科目は専檢の科目と同様に十二科であるが、中學四年修了の程度であるから、幾分専檢より範圍が狭くなつてゐる。

試験施行學校と期日

試験は多くは毎年一、二月頃に官立、公立の中學校で行はれる。其の學校と期日は大體左の通りです。

一月施行

- 東京府—府立一、三、四、五中學校の中の一校づつ交互に行ひます。
- 埼玉縣—浦和、熊谷、川越、粕壁、不動岡の中學校
- 群馬縣—縣立中學校 長野縣—縣立中學校 宮城縣—第一、二中學校
- 愛知縣—第一中學校 岩手縣—盛岡中學校 栃木縣—宇都宮中學校
- 秋田縣—秋田中學校 三重縣—津中學校 石川縣—金澤第一中學校
- 富山縣—縣立中學校 香川縣—縣立中學校 和歌山縣—和歌山中學校
- 德島縣—德島中學校 愛媛縣—松山中學校 高知縣—第一中學校

兵庫縣—神戸中學校

長崎縣—長崎中學校

北海道—應立中學校

二月施行學校

- 京都府—第一中學校 新潟縣—新潟、高田、長岡、佐渡の各中學校
- 静岡縣—静岡中學校 福島縣—福島中學校 青森縣—弘前、八戸、青森の各中學校
- 山形縣—山形、米澤、鶴岡、新庄の各中學校 鳥取縣—鳥取、米子、倉吉の各中學校
- 岡山縣—岡山中學校 山口縣—山口中學校 福岡縣—中學修献館
- 佐賀縣—佐賀中學校 沖繩縣—第一中學校

十一月施行學校

- 大阪府—北野中學校 神奈川縣—第一横濱中學校 千葉縣—千葉中學校
- 島根縣—松江、濱田の各學校 廣島縣—廣島中學校 岐阜縣—岐阜中學校
- 福井縣—福井中學校 熊本縣—中學濟々營 茨城縣—水戸中學校 山梨縣—縣立中學校
- 宮崎縣—都城、延岡の各中學校 大分縣—縣立中學校 鹿兒島縣—第一鹿兒島中學校

右の學校の中、毎年行はない學校もあり、又期日の變更する學校があるから、受験者は其の學校や府縣學務課に直接問合すがよい、さうすると、願書書式も示してくれる、受験しようとする者は、願書の外、履歴書、身體検査書、戸籍抄本、或は謄本、品行證明書、寫真等を添へねばならぬ。但し縣によつては、以上の中除外されるものもある。検定料は一圓から五圓位で、各府縣で違ふ。

(3) 實業學校卒業程度検定試験(實檢)

獨學又は補習教育等に依て、相當の實力を持たれた方は、次の検定試験を受けて合格すると、實業學校卒業生と同等の學力ある者と認定される。從來之に合格しても、高等學校、專門學校への入學資格はなかつたが、昭和三年から、此の合格者にも「專檢」と同じく、高等學校や凡ての專門學校に入學する資格が與へられることとなつた。

實業學校卒業程度検定規程

(大正十四年五月文部省令第三十號)

第一條 實業ニ從事シ又ハ從事セムトスル者ノ爲實業學校卒業程度ノ検定ヲ行フ

第二條 實業學校卒業程度ノ検定ハ尋常小學校卒業ヲ以テ入學資格トスル修業年限

五年ノ實業學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

検定ヲ爲スヘキ學科目ハ工業學校規程、商業學校規程、水産學校規程及職業學校規程ノ各必須科目トス、但シ加設學科目中ヨリ適宜選擇シテ検定學科目ニ加フルコトヲ得

第三條 検定ヲ爲スベキ學校ノ種別、學科、學科目及其ノ程度ハ之ヲ告示ス

検定ハ毎年一回以上之ヲ行ヒ其ノ検定ノ期日、場所、出願期限ハ豫メ之ヲ告示ス

第四條 検定ヲ受ケムトスル者ハ願書(第一號書式)ニ左ノ書類ヲ添へ住所地ノ地方廳ヲ經由シテ文部大臣ニ出願スヘシ

一、履歴書(第二號書式)

二、戸籍抄本

三、寫真(手札形トシ半身脱帽ニテ出願前六月以内ニ撮影シ臺紙ニ貼付セス裏面

ニ撮影年月日、本籍地、氏名ヲ記載シタルモノ)

四、第七條ノ證明書ヲ有スル者ハ其ノ寫

第五條 檢定ヲ受ケムトスル者ハ手数料トシテ一學科ニ付金七圓ヲ納付スヘシ

第六條 檢定ニ合格シタル者ニハ合格證書(第三號書式)ヲ付與ス

第七條 檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受験學科目中ニ付實業學校卒業程度ノ學力アリト認めタルトキハ其證明書(第四號書式)ヲ交付スルコトアルヘシ

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ當該學科ニ付檢定ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試験ヲ免除ス

第八條 不正ノ方法ニ依リ檢定ヲ受ケムトシタル者又ハ檢定ニ關スル規定ニ違反シタル者ハ其ノ檢定ヲ受クルコトヲ得ス

檢定後前項ノ事實發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證明書ハ其ノ效力ヲ失フ

第九條 合格證書ヲ有スル者氏名ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ書換若ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得

第七條ノ證明書ニ付亦同シ

前項ニ依リ合格證書又ハ證明書ノ書換若ハ再交付ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金壹圓ヲ納付スベシ

第十條 手数料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼付シテ之ヲ納付スヘシ既納ノ手数料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (書式略ス)

試験期日及び科目

此の試験は十一月末行はれ、學校及び科目の種類は、工業の部(機械科、建築科)、農業學校の部(農業科)、商業學校の部(商業科)の四科に就て行はれる。次に其の試験科目を示しますと。

機械科——國語(講讀、作文)英語(譯讀)、修身、數學(代數、幾何、三角法)、物理及化學、法制及經濟、材料及工作法、應用力學、原動機(熱機關水力學及水力機)、電氣

工學大意、圖畫及製圖、實驗及實習。

建築科——國語(講讀、作文)、英語(譯讀)、修身、數學(代數、幾何、三角法)、物理及化學、法制及經濟、建築構造、施工法及規矩法、材料及構造強弱、建築沿革、圖畫及製圖。

農業科——國語(講讀、作文)、修身、數學(算術、代數、幾何、測量)、法制及經濟(農業經濟も含む) 地理及歴史、物理及化學(氣象も含む)、博物、養蠶、耕種(作物、園藝、病蟲害、土壤肥料、農具及農業土木)、林業大意、畜産、實驗及實習。

商業科——國語(講讀、作文)、英語(講讀、作文、商業英語も含む)、地理(商業地理も含む)、歴史(商業歴史も含む)、理科、法制及經濟、修身、數學(代數、幾何、珠算、商業算術)、簿記(商業簿記、銀行簿記)、商品、商事要項及實踐。

現在は右の機械科、建築科、農業科、商業科の四科目だけであるが、これは必要に應じて、將來は他の科目も試験されるわけである。願書書式は「志願者心得を文部省宛請求するがよい。」

(4) 科目免除の資格者

文部省告示第三百七十四號(大正十三年十月十一日)

専門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ左記ノ通り學科目ノ試験ヲ免除ス

資 格

試験免除學科目

國語、漢文、歴史、地理、數學
物理、化學

博物

中學校四學年修了者及高等學校入學資格試

驗合格者

教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許

狀所有者

男子ニシテ小學校本科正教員免許狀所有者

小學校専科正教員免許狀所有者

教員免許狀ニ記載シタル學科目

英語ヲ除クノ外ノ學科目

免許狀ニ記載シタル學科目

右は専檢を受ける場合に免除される學科目である。
以上で、専檢なり高檢、實檢については、了解されたことと思ふ。更に獨學者として知つて置かねばならないのは、給費、貸費の制のある學校のことである。

給費貸費の制ある學校

學費の全部又は一部を支給せられる學校では、卒業後相當年限の義務を生ずるのは止むを得ないが、之は見方に依つては、卒業と同時に就職が出来て、収入も大體固定して居るから、却つて安全有利であるとも言へる。今醫者に關係のあるものを調べて見よう。

陸海軍では、依託生の制度を設けて、將來軍醫官、藥劑官、獸醫官にならうとする希望者を大學、醫專、藥專の學生中から選抜して、月額二十圓乃至三十圓を支給することになつてゐる。

日本大學には特待生、貸費生、海外留學生の規定があり、東京齒科醫專には、特待生の外奨學金の制度がある。其の他にも特待生(授業料免除)の規定を設けてある學校は多い。

第五章 軍醫になるには

軍醫と云ふのは、陸軍及び海軍に従屬して居る醫者を指して言ふのである。この軍醫は軍籍にあつて、他の軍人と同様階級がついて居る。

陸軍軍醫は、軍醫、軍醫正、軍醫監、軍醫總監となつて居ります。軍醫は又一等二等三等の三階級に分れてゐて、夫々大尉中尉少尉相當官である。軍醫正も一等から三等までありますから、一等軍醫正と言へば、大佐相當官である。軍醫正の上に軍醫監と云ふのがあります。之は少將相當官である。軍醫の最高を軍醫總監と言ひ中將相當官である。軍醫となれば中將にまで、昇進するの道が開けて居るものと言へよう。

陸軍軍醫になるには先づ、見習醫官として採用されて、ある期間軍醫としての見習をし、その後正式に軍醫に補せられるのである。

見習醫官として採用されるには、次の如き資格が必要である。

一、陸軍衛生部依託學生となり、當該學部の學課を修め、學士と稱することを得る者

二、陸軍衛生部依託生徒となり、當該學校の課程を卒業したる者

三、衛生部幹部候補生

四、前各號に掲ぐるの外、醫師法第一條第一項各號の一に該當する者にして、年令三十二歳未満の者

なほ依託學生については、後の獸醫部の所で説明をすることにする。
海軍軍醫となるに要する資格は、次の様である。

一、海軍軍醫少尉候補生は、醫師免許證若しくは醫術開業免狀を有し、身體検査及び採用試験に合格したるものより、海軍藥劑少尉候補生は藥劑免狀を有し、身體検査及び採用試験に合格せる者より採用す、但し年齢二十歳以上二十八歳以下の者。
有妻の者等は採用せず

二、海軍軍醫少尉は帝國大學醫學部、官立公立醫學專門學校若しくは醫師法に依り、文部大臣の指定したる私立醫學專門學校を卒業したるもの等より任用す。

三、海軍軍醫中尉は、帝國大學醫學部を卒業したる者等より任用す。即ち、陸海軍軍醫は、醫師の資格を有つて居なければ採用されない。

第六章 獸醫になるには

獸醫と言ふのは、獸畜の衛生、治病、蕃殖等に關する學術を修得した醫者のことである。獸醫になるには獸醫免許規則に該當する資格が必要である。今その要點を抜萃して見ると、

獸醫とならうとする者は、農林大臣の免許を受けなければならない。免許を受ける爲には

一、獸醫免許試験に合格し其の證書を有すること
二、官立府縣立の獸醫學校若しくは農學校に於て、獸醫學を専修し其の卒業證書を有

する者

三、公立又は私立學校に於て、農林大臣の認可したる學則に依り、獸醫學を専修し其の卒業證書を有する者

四、外國に於て官立府縣立の獸醫學校、若くは農學校と同等以上の學則に依り、獸醫學を専修し、其の卒業證書を有する者となつてゐるから、學校を卒業すれば、最も近道である。次に、其の學校を紹介致しよう。

東京高等獸醫學校

所在地 東京市世田谷區下馬町

修業年限 三ヶ年

入學資格 中學卒業者、同資格者

授業料 年額百十圓

特典 卒業者は陸軍現役獸醫官たるの資格あり

麻布獸醫畜産學校

所在地 東京市麻布區新堀町十一番地

目的 教育勅語の趣旨を奉じ獸醫及蹄鐵工に關する學術を教授するを以て目的とす

修業年限 本科三ヶ年、蹄鐵工科一ヶ年

入學期 四月の學年始とす、但し臨時入學を許可することあるべし

入學資格 本科に無試験入學を許すべきものは年齢滿十四歳以上の男子にして品行方正、身體強壯左記各項の一に該當するものとす

(一)高等小學二年卒業者(二)中學二年修了者(三)尋常小學卒業者を入學せしむる修業年限三ヶ年以上の農業學校を卒業したる者

右の資格なき者は國語、算術、日本歴史、地理、理科の各科に就き高等小學卒業

醫者になるには

八四

程度に依り試験を行ふ。

本校の學科程度と同等以上の官公私立農學校の獸醫科、畜産科又は獸醫學校に在學したる者は、當該校長の證明書に依り、監査の上相當學年に編入することあるべし。蹄鐵工科は尋常小學卒業又は、之と同等以上の學力ある者と認めたる者に限り、無試験入學を許可す。

學費 入學料金三圓、第二學年編入料金四圓、第三學年編入料金五圓、授業

料一ヶ年金七十二圓、實習費及校費一ヶ年金四圓

特典

一、本科生は在學中入營延期の特典を有し卒業後一年志願兵及普通文官たるの資格あり

二、本科卒業業者及蹄鐵工科卒業業者は無試験開業免許狀を受くるの資格あり

三、本科卒業業者は官公私立の各種専門學校、帝國大學農學部實科、高等農林、高等商業、醫學專門學校、大學豫科、高等學校へ入學する

の資格あり

四、本科卒業業者は陸軍現役獸醫官たるの資格あり

日本獸醫學校

所在地 東京市目黒區下目黒三丁目

規定は前記の學校と大差なきを以て省略します

東京帝國大學農學部實科

所在地 東京市目黒區駒場町

入學資格 滿十七歳以上にして(一)中學校卒業業者(二)專檢合格者(三)同指定者

(四)甲種實業學校卒業業者(農學實科入學許可者の約三分の一は耕地十町歩若は山林原野廿町歩以上の所有者又は其の子弟より選拔す)

學科及修學年限 農學實科、林學實科、獸醫學實科、各三ヶ年

特 典 獸醫學二年生徒中、卒業後陸軍省へ就職志願者若干人は、陸軍獸醫部
依託生徒を命ぜられ、學資一ヶ月五十圓を支給せらる

獸醫が陸軍獸醫部に採用されると、軍醫と同様に他の軍人と同じ様な待遇を受けるのである。獸醫の階級は軍醫と同じく、三等獸醫が少尉相當官であり、獸醫正は佐官に相當し、一等二等三等の三階級があります。一等獸醫正は大佐相當、二等獸醫正は中佐相當、三等獸醫正は少佐相當官である。獸醫正の上に獸醫監、獸醫總監があり、獸醫監は少將相當官、獸醫總監は中將相當官である。獸醫も又中將にまで昇ることが出来る。

陸軍獸醫となるには、先づ見習獸醫に採用される必要があるが、其の採用する資格は次の通りである。

- 一、陸軍獸醫部依託學生となり、當該學部の課程を修め學士と稱することを得る者。
- 二、陸軍獸醫部依託生徒となり、當該學校の課程を卒業したる者。
- 三、獸醫部幹部候補生（獸醫免許證を有し又は受くる資格ある者）

四、前各號に掲ぐるの外、獸醫師法第一條第二項各號の一に該當する者にして、年齢三十歳未満の者

右の資格を有つて居る者が、身體検査及び採用試験に合格しなければならぬ。

次に先に度々出て來た依託生について説明しよう。

詳細は陸軍依託學生依託生徒規則と云ふ規程になつてゐるが、今其の要點を述べます。依託學生又は依託生徒は左に掲ぐる年齢二十七年（衛生部依託學生にありては、二十八年）未満の者にして陸軍衛生部、又は獸醫部の現役士官たることを志願し、身體検査に合格したる者の中より、銓衡の上之を採用す。

- 一、衛生部依託學生——大學令に依る大學の醫學部、又は醫學科又は藥學科學生
- 二、獸醫部依託學生——大學令に依る大學の學部に於て、獸醫學を修むる學生
- 三、衛生部依託生徒——官立公立若は醫師法第一條第一項第一號の規定により、文部大臣の指定したる私立醫學專門學校醫學科の生徒
- 四、獸醫部依託生徒——東京帝國大學農學部獸醫學實科生徒、又は官立公立の專門

學校若は獸醫師法第一條第二項第一號の規定に依り、文部大臣の指定したる學校に於て獸醫學を修むる生徒

となつてゐる。依託生になるには、先づそれぞれの學校に入學してから、手續をとるのである。

第七章 醫者の現状

西洋文明を取入れて以來、急速の進歩を遂げた、我が國の醫學は世界に誇るに足る研究がなされ、且治病の方面にも活用されてゐる。醫師として治療に専念するのと、孜孜として研究に生涯を捧げる所謂學者とは、それぞれ目的が異つてゐる。醫師にならうと考へた人でも、或は研究に興味を惹かれて、一生を學界に貢献する場合もある。彼の世界的偉人と言はれる我が野口英世博士の如きも、最初は醫師を望んで居たのであつた。醫師を望んで、その道に邁進されてゐる中に、或は不世出の名醫と謳はれる者も出でようし、學界に功績をとゞめる人も出て來るであらう。醫師を志す人は、世

界の醫術を指導し、人類の幸福を齎らす、大なる任務を双肩に擔ふ覺悟を持つて欲しいものである。

次に一體現在の我が國の醫師は凡そどの位あるかを調べて見よう。

醫師

年次	醫師	齒科醫師	計
昭和 二	四七、一一〇	一三、七三一	六〇、八四一
三	四七、八六〇	一四、八八二	六二、七四二
四	四八、八〇四	一五、五七三	六四、三七七

右の表に依つて見ると、醫師は内地で一萬人に對して七人弱、齒科醫師は二人弱と言ふ割合になつてゐる、更に之を地方別に調べたのを、參考の爲に左に掲げよう。將來醫師として開業の場合、幾分參考になるかも知れない。

醫者になるには

人口對割合—(人口一萬に付、昭和四年末)

九〇

地方	醫師	齒科醫師	地方	醫師	齒科醫師
北海道	六・四	一・八	神奈川県	六・七	三・〇
青森	四・二	一・六	新潟	五・八	一・三
岩手	四・七	一・一	富山	五・五	一・三
宮城	六・二	一・五	石川	八・〇	一・六
秋田	四・九	一・三	福井	六・二	一・二
山形	五・〇	一・三	山梨	五・六	一・七
福島	四・六	一・六	長野	五・八	二・二
茨城	五・七	一・七	岐阜	五・五	一・九
栃木	五・七	二・一	静岡	六・三	二・三
群馬	四・八	一・六	愛知	六・三	二・五
埼玉	五・二	一・九	三重	七・二	二・三
千葉	六・四	二・二	滋賀	六・四	一・二
東京	一・四	六・三	京都	九・四	二・六

地方	醫師	齒科醫師	地方	醫師	齒科醫師
大阪	五・五	二・五	愛媛	六・四	一・九
兵庫	六・六	二・二	高知	八・〇	二・〇
奈良	五・六	二・三	福岡	七・六	二・三
和歌山	六・〇	二・〇	佐賀	八・〇	二・〇
鳥取	六・二	一・九	長崎	六・〇	一・四
島根	六・九	一・八	熊本	六・一	一・一
岡山	六・五	二・五	大分	八・八	二・三
広島	七・五	二・三	宮崎	四・九	一・〇
山口	七・三	二・〇	鹿児島	六・六	一・一
徳島	五・七	一・四	沖繩	二・八	〇・三
香川	五・一	一・八	計	六・九	二・三

右の表に依つて見れば、醫師の最も多いのは東京であつて、人口一萬人に對して、十
 四人強となつて居り、最も少いのが沖繩で二人八分となつてゐる。東京で開業する者
 は餘程競争も激しいことがわかる。

齒科醫師の方も東京が矢張り第一位で、六人三分であるが、醫師より數がはるかに

少い。近年口腔衛生が喧しく叫ばれ、小學校にも齒科醫が、校醫として存置される様になつた。將來も仲々有望だと思ふ。

更に眼を轉じて、醫師を學歷別に見ることにしませう。

學歷別—(昭和四年末、括弧内は女子)

種別	醫師	齒科醫師	計
大學卒業	九、九五七	—	九、九五七
醫專卒業	二三、四二八	五、七五九	二九、一八七
外國學校卒業	五九	八二	一四二
試驗及第	一二、二八四	九、〇〇三	二一、二八七
奉職履歴	九七	—	九七
從來開業	一、五二七	八	一、五三五
限地開業	一三二	—	一三二
計	四七、四八四	一四、八五二	六二、三三六
	(一、三二〇)	(七二一)	(二、〇四一)

醫師の首位を占めて居るのは、何と言つても、醫專卒業生である。然し數量の上からのごとで、實質に於ては、やはり大學卒業生に勝れた人が多い、右表の括弧内のは女醫であるが、近來女子も仲々この方面に進出して、殊に親切丁寧で、人に接するに好感を持たれるので、男子にとつては、悔り難いものとなつて來た。
以上は統計の上から見た醫師の現状である。

第八章 奮闘の跡

野口英世博士逝いて已に五星霜

博士の偉業は永世に不滅であると同時に、その英靈は永く人類の中に宿るであらう。醫を志す者は必ず範として、發奮努めねばなるまい。以下野口博士の業績と奮闘困苦の生涯を述べて、將來醫に志す人々の参考に供しよう。

野口博士は世界的な細菌學者で、醫學博士、理學博士帝國學士院會員となつた福島縣翁島村の人、赤貧洗ふが如き中に、力學大いに努め、十九歳にして已にドイツ醫書

の翻譯を行ひ、二十九年上京後學僕を勤めて醫師資格試験に合格し、傳染病研究所に勤務、米國ペンシルヴェニア大學教授フレキシナーに知られ、三十二年渡米、同教授の下に蛇毒の研究に従事し、次第に名聲を高め、米國は勿論、日本、歐洲各國の學位を得た。三十七年ロックフェラー研究所創始と共に入所し、遂にその一員に擧げられた。爾來米國に在つて、各種の病菌を發見して、人類に貢獻する所極めて多く、就中、微毒病源體を確定し、黃熱病、病源體を發見した等は、最も著しいものである。其の外約二百に近い發見報告がある。

昭和三年西アフリカのアクラ海邊に、黃熱病研究中これに冒され、遂に世界人類のために殉死したのである。時に年五十三。

これが野口博士の業績と略傳である。

鐵は熱いうちに鍛へなければならぬ。諸君は、今灼熱された鐵にも等しい若人である。今立志し發憤し努力すべき絶好の時機なのである。偉人が踏んだ苦闘の跡を辿つて、反省の材料とし、未來への指針にと思つて紙數の許す限り、野口博士の面影を偲

んでもらひたい。

醫師には違ひないが、むしろ學徒として眞摯な研究の爲に、全生涯を捧げた博士、人命を奪ふ微細な病菌發見の爲に、倦むところなき努力を續けて、一生を終つた博士、されば國境と人種を超越して、人道の爲に戦ひ盡くした博士の努力に、世界全人類は感謝を捧げなければならぬ。

千九百二十八年五月二十一日西アフリカ、アクラ海邊に悲壯な殉死を遂げた博士に對し、世界の國と言ふ國の隅々から、嵐の様な哀悼痛惜の聲が湧き起つたのは當然である。

野口博士は福島縣猪苗代湖畔の一寒村、翁島に呱呱の聲をあげた。有名な磐梯山と猪苗代湖のある村こそ博士の郷里であつた。あの風光明媚の大自然から、世界的な學者が出たには、何か深い關係があるのを感じられる。

其の山と湖水の美しさに比べて、之は又何と粗末な博士の生家であつたことか、會津若松に通ずる縣道を後にして、萱葺、荒壁の間口八間奥行五間程のパラツクに等し

い破屋こそ博士が、少年時代を起き臥した家なのである。

村一番の破れ家に博士が、呱呱の聲をあげたのは明治九年であつた。博士の家は以前は、近郷に知られた家であつたが、博士の生れた時は、全く赤貧洗ふが如くであつた。父は郵便配達の脚夫をして居り、母は便利屋と言つて、御用きゝに等しいことをして買物や傳言をするために、十里の道を女の身で若松まで、往復して、僅か許りの金を得て糊口を凌いで居た。父は其の上酒が好きで、働いて得た金の大部分は、酒に費されると云ふ始末、母親の苦しみは並大抵ではなかつた。然し世界に誇る博士を産んだ母親だけあつて、父親に比べて之は全く我が子の爲にと、日夜心を碎いて養育された。賢母ありて偉人は、生れるものであるの譬に洩れなかつた。

博士の幼名は清作と言つた。博士が三つになつた六月の事である。六月と言へば、農家では忙しくて、猫の手さへ借りたと言ふ位である。博士の母は清作を寝かせて置いて庭先に出て藁細工に餘念がなかつた。突然火のつく様な、悲鳴が臺所の方から聞えて來た。母は驚いて駈けて來て見ると、爐の中に両手をつきこんで倒れてゐた。

夕食の用意に味噌汁を作る爲に、爐には火が盛んにもえてゐた。狂氣の様に抱きあげた母親は、焼けたゞれた我が子の手を見て、失神せんばかりであつた。眠りからさめた博士が、母親こひしさに、よちよち歩いてゐたが、爐端に來て倒れたのである。

母親は自分の不注意を悔いた。そして泣きに泣いた。泣いても泣いても盡きない悲嘆であつた。我が子を不具者にしてはならない。どうか元の様に治らせようと、神佛にすがるより外はなかつた。夜も寝ないで手當をした。母の眼は赤くはれあがり、健康を害した程であつた。觀世音菩薩に祈願をこめて、心から介抱をした甲斐あつて、三十日にして火傷は治療することが出來た。然し田舎の事として立派な醫者が居るのではなし。又居たとしてもあの貧しさでは、治療費があらう筈がなかつた。左手の五本の指は密着してしまつて、松の木の瘤の様になつた。到頭生れもつかぬ不具者となつてしまつたのである。

母親は自分の不注意から、不具者にしたことを我が子に對して、一日として詫びない日はなかつた。そして不具者の憂鬱に僻んで、來ることをいたく心配して、育てる

苦心は一通りでは無かつた。然し幼少の間は氣にとめないで、すくすく育つて行つた。やがて小學校に通ふ時が來た。博士は此の頃からすでに本性を表し始めた。至つて負けぬ氣の博士は、遊びごとは何をしても必らず勝つた。負けた友達はその腹癪に必らず悪口を言つた。手棒、手棒と呼ぶのであつた。左の手の指が密着して棒の様になつてゐるから、こんな名をつけたのだ。

手棒と言はれた博士は、口惜しくて泣いた。然し自分の手を眺める時、全く手棒に違ひない。さうだ、僕は手棒なのだ、淋しいあきらめをするより、外に仕方がなかつた泣いて家に歸つても、母は外に出て働いてゐるし、父は居ない。ガランとした荒屋に日の暮れるのを待たなければならなかつた。

小學校時代、彼の天才はいよゝ發揮し始めた。教室内での博士の活動には、他の生徒等は足許へも寄つけなかつた。教室の中では皆齊しく博士に敬服してゐた。一旦教室を出ると、子供等は例の手棒の異名で博士を苦しめた。博士は、然し學校に通ふ様になつてからは智識慾のために、又教室での心ゆく許りの活動の爲に、友達が悪口

を氣にもとめなくなつた。ひたすら勉學にいそしんで、全く神童の實力を發揮した。

家に歸つた博士は、又孝行息子の評判が高かつた。貧しい家業の手助けにとて日曜を利用しては、鱈を漁つて賣り歩き僅かの金を得ては、親を喜ばし、畑の草そりから馬の飼料集めまでしたのであつた。

尋常小學校を卒業する時が來た。當時は卒業の際は、卒業試験と云ふのがあつて、その爲に試験官が出張することになつてゐた。博士の學校にも試験官が來られた。師範學校を卒業して新進の郡内でも、腕利と云はれた猪苗代小學校の小林榮氏と云ふのがその試験官であつた。

試験は始まつた。試験官が異様な瘤の様な、手を持つた博士を見出さすには置かなかつた。そして、その譯を詳しく聞き訊した小林先生の眼にも涙が光つた。試験官が博士の答案を調べて更に驚いてしまつた。どの學科も少しの缺點もない、完全な答案を書いて居たからである。其の學才の尋常でないのを、見抜いた小林先生は博士に聞いた。

「君は勉強したくはないか」

「もつと勉強して見たいと思ひます。然しそれよりも家業を手傳つて、親の助けにならなければ……」

元より博士の向學心は燃えて居たが、貧しき我が家を思つて、潔く斷念して居たのである。此の言葉を聞いた小林先生は博士の家を訪れた。そして母親にすゝめて、高等小學へ入學させることにした。博士の母親も現在の暮らしのまゝでは、何時になつても樂になれないことを知つて居た。然かし人の世話になつて、我が子を勉強させるのを恥づかしいと思つた。小林先生の熱心に動かされて遂に、小林先生の世話になることにした。

此の頃知合の巡查にすゝめられて、准教員の檢定試験を受けた。博士は教員にならうなどと云ふ考へは少しもなかつたが、受けて置いても差支ないと云ふので、試験を受けたのであつた。學科試験は見事に合格したのである。時に博士は十二歳であつた。學科が合格した博士は身體検査の時には、到頭缺席をしてしまつた。本來の望で

ないからと云ふので、博士の面目が此處にも表れてゐる。

博士は之まででない、又之からも恐らくないだらうと云ふ拔群の好成績で、小學校は卒業した。愈小林先生の居られる、猪苗代小學校の高等科に通學することになつた。博士の家から學校まで、往復四里の道を雨の日も、風の日も、孜孜として倦まず通つたのである。數尺も積つた雪の中を倒れながら、或は匍ひ乍ら通つたこともあつた。その苦痛は一通りでは無かつた。然し勉強の爲にはその苦難も、博士に取つては何でもなかつた。

群を抜いた博士の成績を知つてゐる先生も、博士のあの手棒、無氣味な左手を見る毎にひそかに、胸を痛めて居られた。

「野口のあの頭で、あの成績で、手さへ不具でなかつたらなあ!!」先生の嘆きに増して博士も心を悩まして居たのである。何とかして、五本の指が動ける様にならないものか知ら、此の指が動けたらなあ!!」

博士の悲嘆を知つてゐる小林先生は、博士の左手を何とかしてやりたいものだ、

常に考へて居られた。

當時若松に新開業の有名な醫師が居た。渡邊鼎氏と言つて、ドイツの醫學校を卒業してドクトルの肩書を持つて居た。

小林先生は此の名醫に診せて、博士の手が手術に依つて、指が動く様になるか、どうかを決めてやらう。それが博士の心の悩みを解決する近道だと考へた。

そして渡邊醫師に宛て、紹介状を認めたのである。

先生から紹介状を戴いた博士は、一縷の光明と、絶望の悲嘆が交々胸に湧いて來てわくわくする胸を壓さへて、我が家に歸つた。

母親も小林先生の親切に對して、嬉し涙がとめ度もなく流れ落ちた。愈々若松へ診察に出かける朝、母親は博士を見送りつゝ、心の中で神佛に祈つて居たのである。「どうか指の動く様にして下さいます様に」と、去り行く博士を涙にうるむ眼で見送つたのである。

博士も一時も早く行つて診てもらひたい一念から、足どりも急いで來る。……渡邊

醫師の前に坐した博士は、其の謹嚴な容姿に接して、やがて言ひ渡さるべき歡喜か絶望の何れであらうかと思ふ、興奮をちつと胸に抑さへて醫師の言葉を待つて居た。

紹介状を読み終つた醫師は、徐に立つて別室に博士を伴つた。そして博士の左手を握つて暫らく診て居た。

博士の胸には鼓動が波の様に、高く低く搏つて居た。待ちに待つた醫師の返答、

「これは内部に異常がない様だから手術さへすれば、指は別れて、動くことが出来る様になる」

遂に一道の曙光が表れた。博士の喜びはどうであつたらう、頬を赤くして、いそいそと歸途についた。

母親も博士の診察の結果如何にと、それが氣がかりで、碌に仕事に手もつかかなかつた。

吉報を得た一家は喜びに満ち溢れた。然しそれも束の間手術をするには、可成りの金が費るのである。今の貧しさは、その金を得る術もなかつた。一家は又嘆息の聲を

洩らしたのであつた。

手術をすれば、手の不自由を取除くことが出来ると聞いた小林先生は、尙のこと其の手術に要する金を作つてやりたかつた。校長先生にも話して多くの同情を得て、終に寄附金が手術に充分なだけ集つたのである。

其の年の夏休みを利用して、博士は手術の爲に入院したのであつた。手術の経過もよく、二十日許りで退院することが出来た。手の自由を取戻すことが、出来たけれども、手術の痕は消えないで、醜い左手であつたのである。

高等科を四年修業して卒業する時が来た。勿論首席で斷然優れた成績で卒業した。當時數學は二次方程式まで解くことが出来、英語はリーダー卷三を解するまでになつてゐたと言ふから、如何に博士が熱心に努力勉強したかがわかる、卒業に當つて小林先生から將來の職業を聞かれた時、一方ならぬ恩を受けた、小林先生の自由にして下さいと願ひ出た。

小林先生は手術の時の面識もあり、博士が手術によつて悲嘆のどん底から、喜びの現在へ救つてくれたのは、進歩せる醫術にあるのだから、醫師になつて多くの苦しんでゐる人々を救つた方がよからうとのことで、渡邊醫師に依頼して、その經營せる會陽病院に學僕として住込ませることにした。

かくて天才少年野口清作は故郷を後にして、若松へ壯圖を目ざしめて出かけたのであつた。

學僕としての博士の勤勉と勉學には、醫師を始め、多くの同僚の驚嘆して止まないところであつた。後には他人の領分まで犯して仕事をすると言ふので、叱言を言はれる程であつた。夜晩く寝ね、朝早く起きて、博士の睡眠時間は僅か三四時しかとらなかつたとのことである。

醫者とならうと決心した彼は、醫書の研究に没頭した。そして醫書の研究には語學の必要を痛切に感じて、自ら語學を研究の傍、近隣にゐたドイツ人について、ドイツ語の勉強をした。そして原書を獨力で、漸く讀解することが出来る様になつた。

渡邊氏の助手として技術を練り、研究を重ねて行く中に、立派な醫師としての素養

は出来渡邊氏に代つて診療を行つても、過失は起らなかつた。

此の助手時代に博士は、顕微鏡に興味を持つ様になつたのであつた。此のころすでに田舎としては稀な彼の研究が行はれつゝあつたのだ。

博士は遂に好學の念抑さへ難く、且は醫師試験の爲、上京したのである。

上京した彼は更に寸蔭を惜んで、努力を續けたのである。

さる醫院に學僕として住みこみ、同僚と共に勉強したのであるが、同僚の讀む日本語の書物とは違つて、博士は凡て獨、英等の外國書、即ち原書に依つて勉強するので同僚等は眼を圓くして驚いたとの事である。

果せる哉、出京して三ヶ月後には、醫師試験前期には見事合格したのである。かく言へば極めて易々たる様であるが、之皆博士の天賦の素質に加ふるに、不斷の努力の賜なのである。

最も痛快な事は、今の東京齒科醫專の前身時代、校長の寵を得て、小使をしてゐた時のことである。

その頃博士は多くの學生から小使として蔑視され、始業終業の振鈴まで、振つて居たのであるが、或る時職員に缺員を生じたので、博士が代つて講義をする事になつた。突然博士壇上に現れて講義を始めた時、學生等は、氣が狂つたのではないかと思つたことだらう。呆然と博士を視つめてゐたさうである。

博士は自信あるものの如く、悠然と講義を始め、外國語の難解なものを自由自在に講義してのけるので、學生を啞然たらしめた。然しこの事あつて以來、小使から講師に躍進した博士の信望は、糾然と集まつたとのことである。

更に、更に世界の學界に大飛躍をなして、一寒村の清作は、後に世界の野口となつたのである。

醫者になるには (終り)

昭和八年六月十五日 印刷
昭和八年六月 發行

醫師になるには
定價金 四十 錢

不許
複製

編者 職業指導研究會

發行者 北村 常三
東京市四谷區新宿町一丁目八十八番地

印刷者 太田 米吉
東京市神田區錦町三丁目五番地

發行所 東京市四谷區新宿町一の八八番
振替口座東京二七三〇番
三友社

電話四谷二二二一 番

＝書考參驗受及習自＝

版再	版二十	版再	版一十二	版六十	版七十四
本多吉雄著 自習用 受驗參考 現代數學問題の解き方	石塚好忠著 自習用 漢文の解釋と文法	文學士 青木武助著 受驗指導 中等日本史	文學士 橋本辰彦著 自習用 趣味の東洋歴史	文學士 橋本辰彦著 自習用 趣味の西洋歴史 上・下二卷	文學士 橋本辰彦著 自習用 趣味の日本歴史 上・下二卷
送定四六判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇
●本多吉雄著の「現代數學問題の解き方」は、百餘の難問を精選し、その解法を詳しく解説している。これにより、数学の理解が深まり、試験に役立つ。また、問題の背景や応用についても詳しく説明されている。	●石塚好忠著の「漢文の解釋と文法」は、漢文の基礎から応用まで、体系的に解説されている。文法のポイントや、漢文の読み方についても詳しく説明されている。これにより、漢文の理解が深まり、試験に役立つ。	●青木武助著の「中等日本史」は、中等教育に合わせた内容で、日本史の主要な出来事や人物を詳しく解説している。また、試験に出るような問題も取り上げられている。	●橋本辰彦著の「趣味の東洋歴史」は、東洋の歴史を面白く紹介している。興味のある国や時代を選んで読むことができる。また、歴史の背景や文化についても詳しく説明されている。	●橋本辰彦著の「趣味の西洋歴史」は、西洋の歴史を面白く紹介している。興味のある国や時代を選んで読むことができる。また、歴史の背景や文化についても詳しく説明されている。	●橋本辰彦著の「趣味の日本歴史」は、日本の歴史を面白く紹介している。興味のある時代を選んで読むことができる。また、歴史の背景や文化についても詳しく説明されている。

東京市四谷区 三友社發行 新宿一ノ八八番

＝書考參驗受及習自＝

版重	版七十二	版再	版重	版重	版五十四
中等教育研究聯盟編 現代世界の地理	角田政治著 自習用 趣味の世界地理 上・下二卷	橋本辰彦著 受驗指導 新しい日本地理	中等教育研究聯盟編 現生の代日本地理	中等教育研究聯盟編 現生の代日本地理	角田政治・橋本辰彦共著 改訂中等趣味の日本地理
送定五新判洋裝 料價一・二〇	送定上四六判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇	送定四新判洋裝 料價一・二〇	送定五新判洋裝 料價一・二〇	送定四六判洋裝 料價一・二〇
●「現代世界の地理」は、最新の地理知識を網羅的に紹介している。世界の主要な国や都市、気候や地形についても詳しく説明されている。また、試験に出るような問題も取り上げられている。	●角田政治著の「趣味の世界地理」は、世界の地理を面白く紹介している。興味のある国や地域を選んで読むことができる。また、地理の背景や文化についても詳しく説明されている。	●橋本辰彦著の「新しい日本地理」は、最新の日本地理の知識を網羅的に紹介している。日本の主要な地域や都市、気候や地形についても詳しく説明されている。また、試験に出るような問題も取り上げられている。	●「現生の代日本地理」は、現代の日本地理を詳しく解説している。最新の統計データや社会情勢についても詳しく説明されている。また、試験に出るような問題も取り上げられている。	●「現生の代日本地理」は、現代の日本地理を詳しく解説している。最新の統計データや社会情勢についても詳しく説明されている。また、試験に出るような問題も取り上げられている。	●角田政治・橋本辰彦共著の「改訂中等趣味の日本地理」は、日本の地理を面白く紹介している。興味のある地域を選んで読むことができる。また、地理の背景や文化についても詳しく説明されている。

東京市四谷区 三友社發行 新宿一ノ八八番

＝ 書考參驗受檢專及檢小 ＝

刊新最	版 五	版 五	版 五	版 重	版 重
野間 瑞夫著 小検査問題 問題解答式 教育史と論理學	宮野 輔著 専科正教員 檢定受檢用 附録試験によく出る教育上の術語の解説 教育大意問題精解	宮野 輔著 専正・保婦 檢定受檢用 教育科精説 (訂正増補版)	濱野宮之助著 小検査員及 専検査員用 修身科精説 (訂正増補版)	濱野宮之助著 中教師範自習用 小検査員檢定用 法制經濟精説	谷島源十郎著 受檢參考 問題中心 農業科精説
送料 定價 三〇〇頁 四六判洋裝 送料 定價 一五〇頁 四六判洋裝	送料 定價 二三八頁 四六判洋裝	送料 定價 四九八頁 四六判洋裝	送料 定價 四八二頁 四六判洋裝	送料 定價 四二〇頁 四六判洋裝	送料 定價 七六六頁 四六判洋裝
の題と論理學 を問と本 中理書は 心出學に 出だ教育 中心につ 案な科の 式ない中 に各府 記これ大 述から難 した出買 理所際 想的に の問た も問問	て問ぬ育● 問題大書と 中心來は教 案出授員 式題法は に可大受 叙能意験 述性につ して各府 る問にね ににば 出出に つ出に	は心能いて● 無二性各正 の紋ある府 の述と縣保 の參され認 考さとめ 書され出 である問 か問題者 らをの 受を問 験統と 者今 に後 取問 つ題 中可	要にをに小 領記系出檢 を述統た 知し的實 ること知 があるに がから 出問 來問 る問 の 傾 向 と 答 案 の 位	でを縣の● 且掲に出 つ其の題 の模統問 範的問 解及今 答後 を中 も心 示出 して 書な いた も問 の題	にてが業● 受意重科小 驗義要全學 研究と認科校 にもめ目農 の便のた付 をのの各 摘出及府 せやうし之 之を及 述をし して問 中上 心題 の的見者

東京市四谷區 三友社發行 振替口座東京 番〇三一七二

■■■ の君諸生學英 ■■■

編 郎 市 忠 井 荒



ミツキー・マウス



(イー・ジイ・イングリッシュ)

トイキーで皆様と御馴染みの我等のミツキー・マウス君を容易なる英語で書いたものです。フレッシュなイングリッシュ・グラママーアイアル・コロクイアル・スタイルは皆様の召すこと受合です。英語を面白く學ぶ爲には、ミツキー・マウスを是非一読せられん事を……

怪物ゴリラの巻

本巻もゴリラミストリーとパイステイの二巻より成り寫眞版でイパーテイの二巻より成り寫眞版で本なるゴリラ實に面白く書ける。

開拓者の巻

本巻はパイプニアール・デイスとトゥラフイック・トラブルと二巻より成り、寫眞版で、とても面白く、又非常に氣持ちのよい本です。

飛行家の巻

叔母さんとミニ嬢とミツキー君は今飛行機で田舎へ向つてゐます。悪戯のミツキー君が操縦士となりまし。やがて地上が天にありませう。

ベビーゴルフの巻

吾等のミツキー君は今彼の友達のクック・グーズ・ドッグ等々を召集した。ミツキー君は一體何を始めるのでせうか。興味一〇〇パーセント

音楽家の巻

大きな楽器入れに小さな笛が入つて、大きな楽器あゝ雨が降つて来まして、大きな器入れは雨よけになりまし。そして中からは楽しい音楽が聞ゆ

(各册)

四六判洋裝 定價 三十三金 送料 四金

職 業 指 導 研 究 會 編

職 業 指 導 叢 書

11	美容師になるには	10	飛行家になるには
12	自動車運転手になるには	9	陸軍軍人になるには
13	巡査になるには	8	海軍軍人になるには
14	外交官になるには	7	醫師になるには
15	文士になるには	6	齒科醫になるには
16	遞信官吏になるには	5	看護婦になるには
17	鐵道員になるには	4	新聞記者になるには
18	車掌になるには	3	小學校教員になるには
19	船員になるには	2	洋畫家になるには
20	電信技手になるには	1	理髮師になるには

▲以下續刊

内容

本書は各々其の専門家の叙述である。
本書は其の内容説明が親切丁寧である。
本書によつて希望職業の羅針盤になる。

各册

定價金四十錢
送料金四錢

東京市四谷區 三友社發行 振替口座 東京 二七一三〇番
新宿一の八八

終

